

# H30 都立府中東高校 BOXING部

## 星野千梨菜（3年） 多摩市長 表敬訪問

全国大会で活躍した星野千梨菜(3年)が、2月13日(水)に在住する多摩市の市役所へ赴き、阿部裕行多摩市長を表敬訪問させていただき、2年連続の全国大会準優勝(第16回、第17回全日本女子ボクシング選手権大会)、平成30年度関東チャンピオンという結果をご報告させていただきました。

千梨菜が高校部活動で重ねた努力が、このような素晴らしい形で認められたことを、指導者としてうれしく思います。千梨菜にはこれを誇りに思い、今後の自信として活かして欲しいと思います。

またお忙しい中、お時間をいただいた阿部 裕行多摩市長はじめ素晴らしい機会を設けてくださり、ご準備いただいた多摩市役所関係の方々には感謝申し上げます。

表敬訪問は「来ていただいてありがとうございます」との市長のお言葉から始まり、「中学まで格闘技とは無縁だった女の子がなぜボクシングを始めたのか」「怖くなかったのか」などのご質問に入りました。千梨菜は冒頭こそ緊張した表情で始まりましたが、徐々に



緊張もほぐれ、次第に笑顔が見られるようになりました。

当初30分の予定だった訪問も、終わってみれば45分間。千梨菜の「日々の練習に対する取り組みや思い」「今までの試合」のことなどをご説明し、市長も千梨菜の試合に向けた「気持ちの作り方」や「メンタルの強さ」には時折、驚きの表情を浮かべていらっしゃいました。また卒業後の話も織り交ぜ、終始和やかにお話をして下さいました。

この表敬訪問の様子は、右の様に多摩市の公式HPでもご紹介して頂いています。また3月の多摩市広報誌にも記事を取り上げていただけるとのことで、大変名誉なことです。ありがとうございます。

今回の訪問で千梨菜が市長にご説明した「練習に対する取り組み」や「気持ちの作り方」などは、後輩にも伝わってほしいと思いました。今後も千梨菜には後輩に技術だけでなく、部活動で学んだ多くのことを伝えていってほしいと思います。

また、こうして千梨菜の頑張ってきた成果を認めてもらい、実現した市長表敬訪問。「結果は出すものではなく、ついてくるもの」とも言います。まさに千梨菜の努力の結果、ついてきた表敬訪問。千梨菜の努力が素晴らしかった証です。後輩たちも続け！

## 阿部 裕行 多摩市長 はじめ多摩市役所の 関係者の皆様、 貴重なお時間を頂き ありがとうございました！



### ★表敬訪問後の千梨菜の感想★

- ・緊張した？  
→「ものすごく緊張しました」  
「感じたことのない雰囲気でした」
- ・市長とお話しはどうだった？  
→「そうはない機会だと思います」  
「ありがとうございました」  
「お話しできてうれしかったです」
- ・他には？  
→「ソファがフカフカでした」  
→「そこ？と思わずツっこんだ顧問でした。これも千梨菜のメンタルの強さの一つ。」

みんなが笑顔 いのちにぎわうまち 多摩



[トップ](#) ▶ [子育て・教育・健康・福祉](#) ▶  
[スポーツ・生涯学習・文化](#) ▶  
[スポーツ情報](#) ▶ [スポーツ推進活動](#) ▶

星野千梨菜選手、全日本女子ボクシング選手権大会2年連続準優勝！

多摩市在住の星野選手が、バンタム級準優勝！

平成31年2月13日(水曜日)に、多摩市在住の都立府中東高等学校3年・星野千梨菜選手が、市長表敬訪問にお越しになりました。

星野選手は、平成30年12月20日から24日に長崎県立総合体育館で開催された、「第17回全日本女子ボクシング選手権大会」に出場し、ジュニア女子バンタム級で準優勝しました。

中学の頃はダンスを習っていたという星野選手。高校入学当初の部活動体験の際に、ボクシングの魅力を感じ、ボクシング部に入部。持ち前の高い運動能力と強い精神力で着実に実力をつけ、高校2年の12月、ボクシングを始めて1年半で出場した「第16回全日本女子ボクシング選手権大会」で、ジュニア女子フライ級準優勝を収めました。

ボクシング部顧問の久保先生は、「彼女の強みは前に出てガンガン攻めることができること。また、どんな時でも表情が変わらず、冷静でいられるので、相手にプレッシャーを与えられる。」と評価しています。

星野選手は、「高校3年間、全力でやり切った」と、惜しまれながらボクシングを引退しました。高校卒業後は大学に進学し、「幅広く体育について学び、体育の教員免許を取りたい」と夢を語ってくれました。